

## 地元活性化探究プロジェクト

~Explore our local community and ourselves~

静岡理工科大学 高野 敏明 准教授による

### 「探究学習における 情報収集・情報分析の方法」

についての講義が開催されました。

前号のNewsletter Vol.12でもお伝えしましたが、本校2年生の後期における「総合的な探究の時間」の柱は「SDGs探究学習発表会」となります。探究学習では①課題の設定→②情報の収集→③情報の分析→④まとめ・発表のサイクルをベースとして進めて参ります。Vol.12では①課題の設定について、「SDGsの分野から考える、学部学科選び」という観点から、東海大学岩本教授より講演をいただきました。今回は②情報の収集、③情報の分析という観点から、静岡理工科大学情報学部の高野敏明准教授より講義をお願いしました。

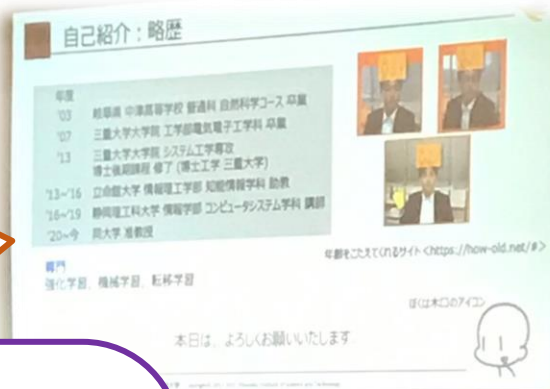
高野先生は中津高校の卒業でもあります。立命館大学で3年ほど勤めた後、現在の静岡理工科大学で、AIを研究分野とし教鞭を取られています。

情報の収集では

1次データ:自分で集めたアンケートなど

2次データ:公的機関の各種統計データなど

情報の分析では、集めたデータを眺めると、データが示す傾向が見えてくることがある。この視点を活用することがポイントです。紹介していただいたRESAS(地域経済分析システム)も「SDGs探究学習発表会」では活用していきます。



中津高校体育館にて